

徳良池（徳良湖）

（とくらいけ（とくらこ））



ため池全景



桜並木とため池

徳良湖祭りで
再現される
土搗き作業の
風景



ため池の概要

ため池の所在地

山形県尾花沢市

ため池の特徴

徳良池は、三大豪雪地の一つ尾花沢市の水田と露地栽培日本一のスイカ畑に囲まれた豊かな自然環境の中にあるため池で、「花笠踊り」は、この池を築堤した時の「土搗き唄」から生まれたものです。

池は、第一次世界大戦後の開田事業に併せて大正10年に築かれたもので、今も120haの水田を潤しています。

築堤工事には、約三万人が従事したとされ、地域の作業班毎に土搗き作業が行われたので「花笠踊り」も地域毎に生まれ、現在も五流派の花笠踊り保存会があり引き継がれています。春と秋の徳良湖祭りでは、当時の土搗き作業が再現されています。

徳良池には、白鳥、カモ等の水鳥が多く飛来しています。また、鯉、鮒、ワカサギ、メダカ、うなぎ、ハヤ、エビなどが生息しています。

ため池の機能を守り、生態系を保全するため、秋には湖面の水が抜かれ、樋管などの整備補修とあわせて地域の人々とともに外来魚の駆除が行われています。また、ボランティアによる花の植栽、草取り、ゴミ拾いも行われています。

関連情報

尾花沢市ホームページ

<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/>